かみかわ町 議会だより

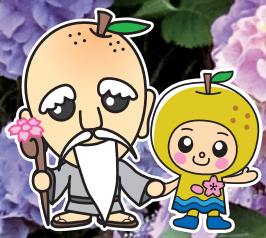
No.74

令和６年
６月１日発行

この町は　あなたが住む町　つくる町　神川町議会

令和６年 3月 定例会

令和６年度議会が注目の新規事業 …… P.2
４名の議員が一般質問を行う…… P.5
議会委員会活動報告…… P.14



表紙の写真　梅雨空に咲く、紫陽花

撮影　フォーカス友の会　馬場　勲さん

表紙シリーズ　町内の風景写真

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

議会の傍聴について

第２回定例会は**６月**

4 日㈫［午前９時～　一般質問等］から

13 日㈭［午前９時～　質疑・討論・採決等］

を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

人を育てて　まちが育つ　未来につなぐ　住みよい神川
～歴史・自然を後世に～

海洋センタープール跡地利用事業

8886万９千円

テニスコート、バスケット３×３（スリーエックススリー）、健康遊具等を設置します。

認定こども園整備事業

3165万７千円

神川幼稚園と青柳保育所を統合し、認定こども園にするため、神川幼稚園の園舎改修設計を委託します。

青柳小学校・渡瀬小学校の統合に係る交流事業

169万９千円

学校統合に向けて、全学年での合同授業や校外学習などの交流事業を実施し、子どもたちが慣れ親しめる機会を設けます。

晴雨兼用傘導入（町内小学生配布用）事業

59万円

登下校時の小学生の暑さ対策事業

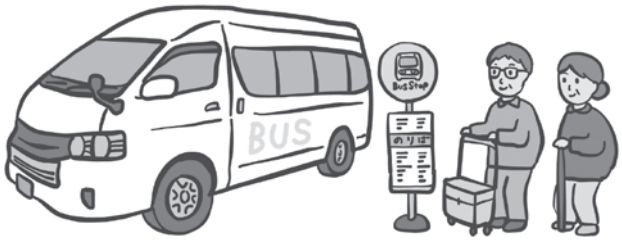
議会が注目

令和６年度新規事業

デマンド交通実証運行委託

970万９千円

実証実験（運行）を通して効果検証等を委託します。



ゆ～ゆ～ランド トイレ更新工事

3800万円

令和６年度は、野球場北側のトイレ更新工事を予定。

旧神泉総合支所 解体工事

9543万６千円

令和６年中に工事完了を予定。

地域振興施設 「ありの実」修繕

3113万円

老朽化した設備を修繕し、新たな運営管理者を募集します。

旧ステラ神泉 解体工事

3764万２千円

新神泉総合支所に旧ステラ神泉の役割は引き継がれています。

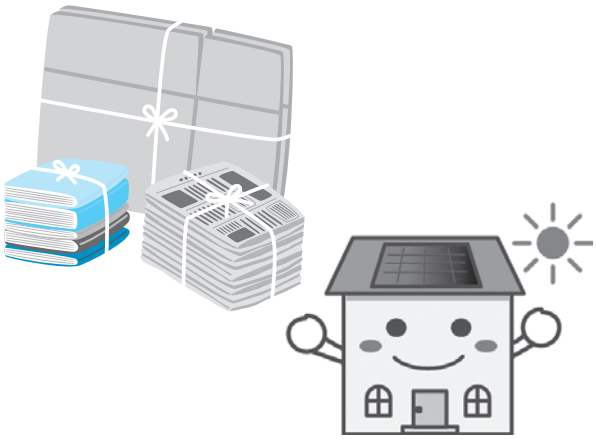
議会が注目

令和６年度新規事業

ゼロカーボンシティ推進事業

857万９千円

①古紙リサイクルステーション購入
②省エネ設備（太陽光発電や電気自動車等）
　設置補助金
③省エネ家電買換促進補助金



神川町自転車用ヘルメット着用促進補助金事業

10万円

小中学生以外の自転車利用者への補助事業

神川町産後ケア事業

70万７千円

核家族化が進むなか、出産後１年以内の不安な時期に特化した母子に対してサポートを行います。医療機関や産院などの専門機関での宿泊型・日帰り型及び訪問型のサービスを受けることができます。

第３次神川町健康増進計画 ちょっくら健康21（健康増進計画等）策定事務

639万７千円

国・県等の基本方針の改訂に伴い、町計画の更新を行い、より効果的な健康増進施策につなげます。

３月定例会を開催

令和６年第１回神川町議会定例会は、３月５日から19日までの15日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和６年度一般会計及び特別会計当初予算８件や、補正予算６件をはじめ、条例の改正10件、人事案件等６件の計30件の案件を審議し、原案どおり可決・同意・承認しました。

なお、陳情書１件は採択しました。

一般質問　3月5日

一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。３月定例会では、４名の議員が、町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。ここに、６ページ以降に掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものになります。

質　問　者	質　問　事　項	掲載頁
川浦　雅子	１．農業振興について ２．防災について ３．不登校と人権について	6
福島　康弘	１．令和６年度一般会計予算案について	7
赤羽奈保子	１．不登校への支援について ２．認知症予防について	8
新井　太一	１．安心安全に暮らせるまちづくりについて （追跡質問） ２．通院による精神負担、費用負担の軽減について ３．閉校後の学校用地の利活用について	9

３月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、６月上旬から町ホームページの神川町議会からも閲覧できますので、会議録の検索からキーワードを入力してご利用ください。

川浦雅子議員

農業振興

◆農業者を守り育てるために

種子や肥料等の大半を輸入に頼ることも含めた、日本の食料自給率は、10％程度と言われています。また、農業者の平均年齢は68・4歳で、日本の食と農業が深刻な状況です。国は、農振地域除外要件の厳格化等、農政基本法改定に乗り出しました。

町として、農業者を守るために、農地の有効な活用法や、思い切った直接支援などを考えてください。町の農業振興策を伺います。

答え　町長

「農業振興に努めます」

町では、様々な農業振興策を実施しています。新規就農青年育成奨励金の交付や、新規就農者への農業機械購入費の補助、梨スクールの実施等、農業の近代化を図っています。また、荒廃した農地再活用への補助事業も実施し、担い手確保、育成に努めます。加えて、昨今の自然災害による農業被害についても支援しています。

防災

◆誰も取り残さない計画を

防災計画は、近年の自然災害からも対策を学ぶ必要があると考えます。備蓄品や女性目線の避難所運営、要配慮者の安全確認、及び避難計画をはじめ、個別対応が必要な方等の福祉避難所の対応や、人材確保、加えて想定される孤立集落への対応等、多くの課題が考えられます。また、住民の防災意識向上への取組も伺います。

答え　町長

「減災対策に取り組みます」

過去の災害時の課題や取組を参考に、広報での減災啓発や自主防災組織設置の促進、電柱に浸水想定深表示板設置、並びに土砂災害警戒区域表示板、設置等を行い防災意識向上につながる対策を行っています。また、避難所については、女性職員や保健師配置や要配慮者等への対応も準備できています。特に、孤立想定集落には、集会所に十分な備蓄をしています。区長会や自主防災組織、社会福祉協議会等と連携を図り、取り組んでいきます。

不登校と人権

◆学校も多様化の時代に

不登校は、競争圧力と、同調圧力というストレス要因によると考えられ、本人や親の責任ではありません。

しかし、学校側は不登校を、主に本人や家族の責任（文部科学省調査）にしています。

子どもの学ぶ権利の保障と、子どもの人権に主眼をおいた教育のできる公のフリースクールを町内に設置して頂きたい。人権教育にも町全体で取り組んで頂きたいが、町の考えを伺います。

答え　教育長

「一番は学校の居場所づくり」

町の不登校児童生徒数は増加しています。多様な学びに対応するため、本庄市にふれあい教室を児玉郡市で運営していますが、距離が遠い等の課題はあります。町では自宅学習として、オンライン授業に取り組み、6年度には中学校に不登校対策室を設置予定です。保護者も子どもも学校で勉強することを望んでいると思いますので、授業の工夫や、学校の居場所づくり等で多様な学びの場をつくっていきます。偏見等は、町でも人権教育を行っています。

福島康弘議員

令和6年度一般会計予算案

◆一人も取り残さない予算編成を!!

人口減少、特に生産年齢人口の減少による税（町歳入）減収や高齢化社会を迎え、社会保障関連経費増加、加えて公共施設の維持管理費の増加が見込まれるなか、町ではどのような方針や考えのもと新規事業をはじめ重点事業などの予算編成を行いましたか。町長の目指している効果や成果と併せて考えを伺います。

町の人口も13000人を下回り各自治体も人口減少においては、特に苦労しています。

若い世代をはじめ、子育て世代が地元に残れるよう給食費無償化のような町独自の思い切った政策が必要ではないでしょうか。

また、高齢者においては昨年度より調査予算計上したデマンドタクシーの早期実現に向けてご尽力をお願いします。

今後のまちづくりを見据えて、各課から上がってきた提案ではなく町長の指示で新規に予算計上した事業の目的や考えを伺います。

答え　町長

「住みよい町の実現を目指します」

令和6年度一般会計予算は、厳しい財政状況のなか、直面する人口減少や少子高齢化などの課題への対応、町が発展していく上で、何が必要なのかを改めて考えるとともに、魅力あるまちづくりの実現に向けた予算編成に努めました。

新規重点事業は、運転免許を返納される高齢者の増加や交通空白地域に対する新たな交通手段の導入を実現するためのデマンド交通の実証運行事業をはじめ、過疎地域での物流環境の衰退などを見据え、ドローン等を活用した新スマート物流導入調査事業や海洋センタープール跡地を利用し、多くの人が多目的に利用できる運動施設整備事業等を計上しています。

なお、子育て支援の充実を図るため、出産祝金支給事業の拡充や青柳保育所と神川幼稚園を統合した認定こども園整備事業などに取り組みます。

また、今後のまちづくりを見据えた事業への取組では、地域の皆様との協働や民間企業の活用が不可欠と考えていることから、まちづくりアンケートや民間事業者の知見やノウハウを生かし、DX推進や住民サービスを向上させるための新たな地域活性化起業人事業、ゼロカーボンシティ推進事業も予算計上しました。今後も、住みよいまちづくりの実現に向け、挑戦します。

赤羽　奈保子　議員

不登校への支援

◆不登校児童生徒の保護者の支援を

令和5年3月31日、文科省は誰一人取り残さない不登校対策として、ＣＯＣＯＬＯプランを取りまとめ、不登校児童生徒支援のなかに、保護者支援の重要性が明記されました。町での、保護者支援について伺います。

子供の不登校は精神面や経済面など予期せぬ負担がのしかかってきます。そのため、親を孤立させない支援が大切だと考えます。そこで、学校の相談員さんに相談しやすい環境強化に加え、不登校の保護者同士が思いを語りあったり情報交換ができる集いの場を作ってはどうかと考えます。町の考えを伺います。

答え　教育長

「一歩を踏み出します」

不登校児童生徒の保護者は、我が子が再び学校に通えるか、今後、社会に出て取り残されないかなど、様々な不安をずっと抱えています。そのような気持ちに寄り添った保護者への対応をしていくことが大切だと考えます。町では、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーによる相談に加え、さわやか相談員さんが保護者の面談を行っています。面談では、不登校児童生徒や保護者を孤立させないようなケース対応に努めています。また、保護者同士の情報共有の機会確保も支援の一つとして考えますが、保護者の集う場の設置は現時点ではありません。一方で、令和6年度は、不登校対策室を設置する計画です、この対策室活用により一層の支援強化を図ります。

認知症予防

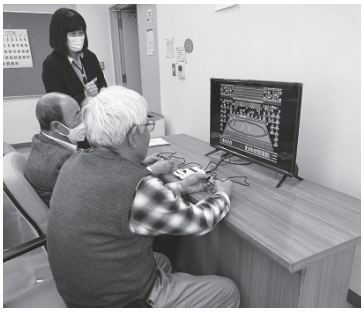
◆ｅスポーツを認知症予防に

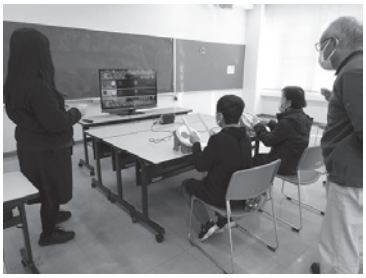
ｅスポーツは、障害の有無や年齢に関係なく、全ての人が行えるバリアフリースポーツとして、また認知機能の維持や孤立解消の手段としても注目され、一部の自治体が企業と連携して実証実験を始め、ｅスポーツにより認知機能の改善報告もされています。町でも今年度、全世代対象のｅスポーツ講座をスタートさせましたが、今後、認知症対策、高齢者孤立解消対策、フレイル予防として、高齢者分野で導入する考えはありますか。

答え　町長

「事業に取入れ検証します」

ｅスポーツは、記憶力や運動機能が低下した高齢者など体の不自由な人もできるツールとして注目され始めています。先行して認知症予防対策に取組んでいる自治体では、高齢者の空間認知能力や注意力、短期記憶などの改善効果があると報告され、加えて介護予防教室への参加率の低い男性の関心も高いようで、孤立解消対策としても有効です。今後、他の自治体の効果検証結果を参考に、関係各課と連携しながら、介護予防事業における活用を研究していきます。





町のｅスポーツ事業

新井太一議員

安心安全に暮らせるまちづくり

◆防犯カメラ設置を！

令和4年12月定例会で、防犯カメラを設置する場所は付近で犯罪が多発している状況など、一定の正当な理由がなければ、肖像権やプライバシー権の侵害に当たる可能性が大きく、犯罪被害件数などの客観的な事情が必要と答弁がありました。1年以上がたち、令和5年の神川町犯罪認知件数は、令和4年度より大幅に増加しております。この数値は、町の防犯カメラ設置理由の正当な理由に準ずる数字だと考えますが、町の考えを伺います。

答え　町長

「関係機関の意見を聞き慎重に対応します」

刑法犯認知件数については、いずれも11月末現在の数値になりますが、町内で令和4年は54件、令和5年は79件と25件増加しています。防犯カメラ設置場所付近での犯罪の内容や件数など、警察等の意見も聴きながら、慎重に対応していきたい。

通院による精神負担、費用負担の軽減

◆費用負担の支援を！

高齢化が進むにつれて、透析治療を必要とする方が年々増加しています。透析患者のための無料の送迎バスを運行している病院もありますが、自力でバスに乗れることが条件となり、支援の必要がある方が利用できなかったり、患者の住んでいる地域が送迎できない場所などにより、十分なサービスが行き届いておりません。無理をして週3回自家用車で通う方、タクシーで月何万円と使わなくてはならない透析患者さんのため精神負担や費用負担を減らし治療に専念できるよう、交通費の助成や各医療機関と町が連携できるような仕組み作りが必要と考えます。町の考えを伺います。

答え　町長

「不断の情報提供に努めます」

町としても、医療機関により町内で送迎が利用できない地域があり、一部の方はタクシーを利用している方がいることも承知しています。交通費の助成については、今後の人工透析患者の状況を注視するとともに、近隣市町の状況や先進自治体の事例などを参考に慎重に対応を検討します。人工透析は、体力的にも精神的にも大きな負担を伴いますので、患者の適切な医療選択につながるよう情報提供等に努め、人工透析患者の不安にも丁寧に対応します。

閉校後の学校用地の利活用

◆前向きな跡地利用を！

令和7年4月より、渡瀬小学校と青柳小学校の統合に伴い、現渡瀬小学校の閉校に向けて協議が進んでいますが、その後の跡地利用についての計画はされていないようです。地域のコミュニティーの創出や観光、または企業の参入によって、地域の活性化の核となるような施設になることが望ましく、自治体の技量が問われます。神川町の発展につながるよう、地域の特性を生かし、全国に渡瀬小学校の跡地利用の募集をかけるなどの考えがあるのか、伺います。

答え　町長

「検討委員会での議論を進めます」

渡瀬小学校の閉校に向けた協議を進めてきたなかで、閉校後の跡地利用については、町として大きな課題と捉えています。この跡地利用については、本定例会に提出しています神川町立学校設置条例の一部を改正する条例議決後に、具体的な用途等について、検討委員会を立ち上げ検討します。今後、あらゆる可能性を排除せず、より適切な方針ができるよう努めます。

３月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

	議案名等と主な内容	審議結果
町長提出議案	**令和５年度神川町一般会計補正予算（第９号）** 電算機器購入費２４８９万３千円及び児童手当支給事業は支給対象児童数の減により１５８７万５千円の減額など。歳入歳出各４９０万７千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各６４億３６２１万１千円とする。	○
	令和５年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第３号） 保険給付費、基金積立金及び諸支出金を増額補正した。	○
	令和５年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号） 後期高齢者医療広域連合納付金を減額補正した。	○
	令和５年度神川町介護保険特別会計補正予算（第３号） 総務費、保険給付費及び地域支援事業費を減額補正した。	○
	令和５年度神川町営バス事業特別会計補正予算（第１号） 繰越金２７万７千円を増額し、一般会計繰入金の同額を減額補正した。	○
	令和５年度神川町観光事業特別会計補正予算（第２号） 繰越金４１９万５千円を増額し、一般会計繰入金の同額を減額補正した。	○
	令和６年度神川町一般会計予算 海洋センタープール跡地利用事業、認定こども園整備事業や肥土・小浜地内の町道5180号線の改良工事など。予算の総額を歳入歳出それぞれ５９億７３００万円と定める。	△
	令和６年度神川町国民健康保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１５億５４１万４千円と定める。	△
	令和６年度神川町後期高齢者医療特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１億８４９９万１千円と定める。	△
	令和６年度神川町介護保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１１億１２２６万９千円と定める。	△
	令和６年度神川町営バス事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ９８２万９千円と定める。	○
	令和６年度神川町観光事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１３３８万１千円と定める。	○
	令和６年度神川町水道事業会計予算 第３条予算の水道事業収益を３億７８３万２千円、水道事業費用を２億９７６２万５千円と定め、第４条予算の資本的収入を５７２万円、資本的支出を１億１１０５万７千円と定める。	△
	令和６年度神川町下水道事業会計予算 第３条予算の下水道事業収益を１億４０７５万２千円、事業費用を１億１８９７万６千円と定め、第４条予算の資本的収入を３６２５万円、資本的支出を１億４１１万６千円と定める。	○

※審議結果　○全員賛成（可決）　△賛成多数（可決）　×賛成少数（否決）

３月定例会議案一覧及び審議結果「条例等」

	議案名等と主な内容	審議結果
町長提出議案	**神川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例** 地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町立学校設置条例の一部を改正する条例 令和７年４月１日に渡瀬小学校を青柳小学校へ統合する。	△
	神川町介護保険条例の一部を改正する条例 介護保険施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	△
	神川町営住宅条例の一部を改正する条例 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町水道事業給水条例及び神川町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例 水道法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町多目的交流施設設置条例の一部を改正する条例 神川町多目的交流施設の使用料の改正を行う。	○
	神川町町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町税条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	専決処分の承認を求めることについて 令和５年度神川町一般会計補正予算（第８号）を承認する。	○
陳情	**町道６０３７号線の改修について** 総務経済常任委員会は「全会一致」で採択し、本会議も採択になりました。	○

※審議結果　○全員賛成（可決）　△賛成多数（可決）　×賛成少数（否決）

３月定例会議案一覧及び審議結果「人事案件等」

	議案名等と主な内容	審議結果
町長提出議案	**教育長の任命につき同意を求めることについて** 福嶋慶治氏の任期満了に伴い、町長から再任案が提出され、同意されました。	△
	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 小島健司氏の任期満了に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意されました。	○
	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 設楽弘文氏の任期満了に伴い、町長から再任することについて推薦案が提出され、満場一致で同意されました。	○
	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 栗本襄氏の任期満了に伴い、町長から髙栁美代子氏の推薦案が提出され、満場一致で同意されました。	○
	財産の処分について 旧冬桜の宿神泉の土地をふぁーむニコ株式会社に売却する。	○

※審議結果　○全員賛成（可決）　△賛成多数（可決）　×賛成少数（否決）

各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

	議案名称	議決等の結果	1 剣持真菜美	2 新井 太一	3 四方田繁男	4 田中 隆久	5 福島 康弘	6 川浦 雅子	7 野口 弘吉	8 坂本 貴佳	9 堀川 光宣	10 赤羽奈保子	12 柴崎 愛子
町長提出議案	神川町立学校設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－
	神川町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－
	令和６年度神川町一般会計予算	可決	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－
	令和６年度神川町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－
	令和６年度神川町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－
	令和６年度神川町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－
	令和６年度神川町水道事業会計予算	可決	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－
	教育長の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	－

○ 賛成　× 反対　― 柴崎愛子議長（議事進行）は採決に加わりません。
― 田中隆久議員は、欠席です。

令和５年度児玉郡町議会議員後期研修会

令和６年１月26日(金)、児玉郡町議会議長会の研修会が上里町役場大会議室で、㈱廣瀬行政研究所代表取締役で元全国市議会議長会法制参事の廣瀬和彦氏を講師に「行政を動かす一般質問のポイント」の演題で行われました。

これからも様々な研修に参加し、議員としての見識を深めていきます。

勉強会(小学校統合)

令和６年１月31日(水)、小学校統合に関する勉強会を開催、教育委員会や学務課の担当職員から青柳・渡瀬小学校統合準備委員会で話し合われた内容や、現在の進捗状況などの説明を受けました。

議員からは大人数クラスになじめない子への対応、スクールバスの状況など、さまざまな質問があり活発な勉強会になりました。

総務経済常任委員会合同視察(三郷・春日部)

令和６年３月８日(金)総務経済常任委員会では、本庄市議会と合同で、委員会視察を行いました。「三郷流山橋有料道路」では交通渋滞への対策について、春日部市の「首都圏外郭放水路」では、治水についての説明を受けました。

3/1(金) タブレット端末操作研修会

2/13(火) 新神流川橋建設工事視察

3/12(火) 新規事業研修会

議　会　活　動　報　告

総務経済常任委員会

令和６年３月11日（月）総務経済常任委員会を開催し、執行部から建設課職員の出席を求め、現地では、陳情者立会いのもと、新里地区の「町道６０３７号線の改修についての件」の陳情書１件を慎重に審査しました。執行部からは「町全体の道路整備の優先順位を考えながら検討したい。」との説明があり、採決の結果、採択といたしました。

文教厚生常任委員会協議会

令和６年３月11日(月)文教厚生常任委員会を開催し、教育長をはじめ教育委員会学務課と小・中学校の校舎等の設備の現状、中学校の部活動における外部指導員について説明をうけ、老朽化に伴う設備修繕計画を立てるよう要望し、外部指導員の人数や今後の部活動の実施方法について確認しました。また文科省からの提言により今後の授業の実施方法の変更点等の説明をうけました。

編集後記

梅雨の時期が訪れ、雨の日は心が落ち着く雨音に耳を傾けて、心を豊かにしていきましょう。３月の定例会では予算審議が行われ、今年度も多くの新規事業が始まります。地域の発展のために、わかりやすい議会活動を展開していきたいと思います。今後も皆様のご意見をお待ちしております。

（剣持真菜美）

議会だより編集委員会

・委員長　赤羽奈保子
・副委員長　川浦　雅子
・編集委員　野口　弘吉　田中　隆久
　新井　太一　剣持真菜美
・アドバイザー（議長）　柴崎　愛子

スマホで議会！

スマホでＱＲコードを読み込むと「町ＨＰから神川町議会のページ」が閲覧できます。

９月定例会は、９月３日（火）から開催予定です。

●編集　神川町議会だより編集委員会　〒367-0292　児玉郡神川町大字植竹909
●発行　埼玉県児玉郡神川町議会　☎0495(77)0707　Fax0495(77)5771
http://www.town.kamikawa.saitama.jp